

2022年2月17日
イオン北海道株式会社

2022年4月より順次、店舗で配布する プラスチック製カトラリーを木製・紙製に切り替え

2025年までに使い捨てプラスチック使用量を2018年比で35%減らします

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、CO₂排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に寄与すべく、2025年までに2018年比で35%減らす目標を掲げています。

当社は2020年から、お客さまがお惣菜などの商品を購入される際にお渡しするカトラリーについては、レジにて必要な方にお渡しするなど一部オペレーションを見直し使用量の削減を推進してまいりました。

こうした中、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進するため、2021年10月より、一部店舗でストローを紙製に変更しました。このたび、当社の運営する「イオン」「マックスバリュ」「フードセンター」「ザ・ビッグ」「まいばすけっと」全165店舗でお客さまにお渡しするカトラリーについても、2022年4月から順次、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に切り替えます。

当社は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的取り組みでまいります。

	＜切り替え前＞ プラスチック製	＜切り替え後＞※2 木製・紙製
カトラリー (プラスチック製)		

※1：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材

※2：各カトラリーの取扱いは各店舗で異なります。

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

ご参考 使い捨てプラスチック削減の取り組み

■資源回収の推進・食品レジ袋無料配布中止

当社では、いち早く資源の節約やCO₂の排出削減に取り組み、買物袋持参運動によるレジ袋削減や店頭資源回収による紙パックや食品トレーなどの有効活用を実施しています。食品トレーについては、真空パックなどトレーを使わない商品を販売しているほか再度資源化して新しいトレー（エコトレー）に生まれ変わらせる「トレーto トレー」の取り組みを㈱エフピコと連携して行っています。また食品レジ袋については、2008年6月より無料配布の終了に取り組んでおり、2020年4月からはプラスチック製・紙製限らず、全てのレジ袋を有料で販売しています。

